

令和3年度 事業報告書

(令和3年1月1日から令和3年12月31日)

特定非営利活動法人NOMOベースボールクラブ

I 活動の成果

1. 特定非営利活動に係わる事業

(1) 野球クラブ支援

令和3年度は、1月5日から但馬ドームにて、基礎体力向上を目的としたトレーニングを開始3月1日から10日間、高知県春野球場にて春季キャンプを実施した。キャンプ中に、打撃コーチとして新井宏昌氏を招聘し打撃指導を受けた。

令和3年度シーズンは、第45回全日本クラブ野球選手権大会予選準決勝で関メディベースボール学院に敗れ、敗者復活戦でもJFFシステムズに敗れ、全日本クラブ野球選手権大会出場への道は絶たれた。

第92回都市対抗野球大会兵庫地区一次予選は、初戦で神戸ビルダーズに4-0で勝利し、続く準決勝で関メディベースボール学院に4-2で勝利、決勝戦で県警桃太郎を5-3で退け、近畿地区二次予選進出を決めた。近畿地区予選では、初戦0-5でパナソニックに敗れ、続く敗者復活1回戦でマツゲン箕島硬式野球部に0-8で敗れ、予選敗退となった。

8月に開催された姫路市長杯兼支部大会では、1回戦で県警桃太郎に1-4で敗れ、最後の大会となった第45回高砂大会予選リーグも1敗1分けで敗退し全日程を終了した。

自粛の影響を受け満足な練習ができなかったものの、通常の練習では、コウノトリスタジアム、植村直己記念球場、出石球場、冬季は但馬ドームを使用し、選手の競技力の向上とチームとしての実践力の向上に努めた。

(2) ベースボールクリニック事業

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催の縮小を余儀なくされたが、豊岡市「こうのとりのスタジアム」を拠点に少年野球教室、ティーボール教室を6回実施し、364名の参加者があった。今年度から保育園児に対してティーボール教室を積極的に行い、豊岡市の野球人口増に繋げる教室となった。その他NOMOCUP野球大会においても、参加チームの選手たちに技術指導を行った。

(3) 指導者養成・派遣

例年指導者を派遣しているボーイズリーグジュニアオールジャパンチーム（中学生対象）のアメリカ合衆国遠征は、開催中止となった。

(4) 野球大会の開催

野球大会の開催では、毎年兵庫県の南北交流を目的に西武ライオンズの栗山選手が支援している少年野球団とタイアップして、「第7回NOMO・KURIYAMA ALLSTARGAME」開催していたが、令和3年度は、新型コロナウイルス蔓延防止のため中止となった。

毎年恒例の第19回NOMOCUP野球大会では、3リーグから6チームが参加、将来のプロ野球選手の卵たちが熱戦を繰り広げた。

(5) その他、この法人の目標を達成する事業

■地域交流事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、地域イベントが縮小されたため地域交流事業は自粛となった。

2. その他の事業

(1) 物品販売事業

本年度も、クラブオリジナルグッズの定期販売において、ホームページ、FAX等での販売の他、地域イベントにおいても販売を行い安定的な利益確保を図った。

(2) 支援自販機事業の促進

本年度も、キリンビバレッジ社、コカコーラ社と提携し、本クラブの支援自販機を設置して、地域への認知向上を図るとともに、売り上げの一部をクラブの事業費とした。

(3) 広告事業

株式会社ヒラタ様と新規スポンサー契約を締結した。その他、安定した利益確保のため既存スポンサーとの継続契約を行った。

II 事業内容

1. 特定非営利活動に係わる事業

(1) 野球クラブ支援

■公式戦試合結果

月日	大会名	対戦チーム	結果	球場
3. 20	全日本クラブ野球選手権兵庫	神戸レールスターズ	3-2○	明石
3. 22	〃	関メディベースボール学院	4-5●	明石
4. 3	〃	JFE システムズ	1-2●	G7
6. 12	第 92 回都市対抗野球兵庫一次予選	神戸ビルダーズ	4-0○	高砂
6. 20	〃	関メディベースボール学院	4-2○	〃
7. 3	〃	県警桃太郎	5-3○	〃
8. 10	第 53 回姫路市長杯兼秋季大会	県警桃太郎	1-4●	姫路
9. 7	第 92 回都市対抗野球近畿二次予選	パナソニック	0-5●	わかさ
9. 10	〃	マツゲン箕島	0-8●	〃
10. 3	第 45 回 JABA 高砂大会予選	NSBC	6-8●	高砂
10. 3	〃	昭和コーポレーション	5-5△	高砂

■オープン戦試合結果

月日	対戦チーム	結果	球場	月日	対戦チーム	結果	球場
2. 18	関メディ BB	7-10●	鳴尾浜	11. 21	大阪府選抜	4-7●	有田
3. 10	四国学院大学	3-0○	春野	10. 12	京都選抜	6-2○	有田
3. 12	履正社医療	1-5●	履正社				
3. 15	岡山商科大学	8-3○	こうのとりの				
4. 12	ルネス紅葉	0-1●	甲賀				
5. 18	日鉄広畑	0-18●	日鉄広畑				
6. 26	全大津野球団	15-1○	守山				
7. 17	佛教大学	3-0○	佛教大				
7. 24	OBC 高島	6-3○	今津				
7. 29	大阪ホークス	12-3○	こうのとりの				
8. 23	日鉄広畑	0-3●	日鉄広畑				
9. 13	同志社大	1-8●	ひらかた				
9. 24	履正社医療	6-8●	こうのとりの				
9. 29	ルネス紅葉	7-1○	こうのとりの				
11. 6	流通科学大	3-3△	流通科学				

■公式戦：11 戦 4 勝 6 敗 1 分け

■オープン戦：17戦8勝8敗1分け
(2) ベースボール・クリニック事業

①豊岡市少年野球教室

【主催】	豊岡市・豊岡市教育委員会
【実施場所】	このとりスタジアム・各小学校校庭等
【実施回数】	6回
【対象者】	幼稚園年長組、小学校低学年野球未経験児童、小学生野球チーム
【年間参加数】	364名

【内容】

青少年に、野球を通じてスポーツの楽しさや素晴らしさ、チームワークの大切さを伝え心身ともに健全な社会性を備えた青少年の育成を目的として、本年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け開催を縮小、感染防止に最新の注意を払いながら、豊岡市主催の下、市内の幼稚園年長組、小学生を対象（364名参加）にした野球教室を6回開催した。野球指導は、参加者の年齢・経験・身体能力に応じて、技術力の向上に向けて効果的な練習方法を指導するとともに、一部ゲーム形式を取り入れ、楽しんで野球を学んでもらえるよう工夫している。また、マンツーマン指導を中心に。本クラブの選手も積極的に指導に当たり、教室を通じて、本クラブを身近に感じてもらえる交流の機会も創出した。今年度は、豊岡市の野球人口の底上げを目標に掲げ、地元の幼稚園年長者対象のティーボール教室を開催した。

◆令和3年度 第1回豊岡市主催少年野球教室（2021. 10. 26）

港小学校、認定こども園、野球未経験児童 25名を対象にティーボール教室を開催した。軟らかいバットとボールを使って誰でも参加できるティーボールで野球の楽しさを体験してもらうことができた。

◆第1回少年野球教室 準備運動指導の様子



◆令和3年度 第2回豊岡市主催少年野球教室（2021. 11. 1）

第2回豊岡市主催少年野球教室は、八条小学校にて認定こども園 児童 43 名を対象に開催した。軟らかいバットとボールを使って誰でも参加できるティーボールで野球の楽しさを体験してもらうことができた。

◆第2回少年野球教室の様子



◆令和3年度 第3回豊岡市主催少年野球教室 (2021.11.11)

第3回豊岡市主催少年野球教室は、豊岡市内小学校（八条、中竹野、八代、資母小学校）の児童を対象に開催した。資母小学校では3・4年生あわせて119名による野球教室となり、男女混合チームによる開催となった。開会式後選手と一緒に準備体操やランニングを行い、キャッチボール、ティーバッティング練習、最後のミニゲームでは選手もチームの中に入り大いに盛り上がりを見せた。

◆第3回少年野球教室開催のキャッチボール指導の様子



◆令和3年度 第4回豊岡市少年野球教室 (2020.11.19)

令和3年度第4回豊岡市少年野球教室は、兵庫豊岡ボーイズ（22名）、ヤング兵庫但馬（41名）計63名の選手を対象に開催した。今回は豊岡市の行事である「夢へのチャレンジ」と題して、夢先生を元近鉄バッファローズ投手の小池秀郎理事が努め指導を行った。開会式後、NBCの選手も一緒にランニング・ストレッチ等のウォーミングアップを行った。その後、参加選手全員に小池理事から投球フォームやスローイングで大切なことの指導があり、キャッチボール、守備練習へ移行した。投手陣はマウンドで投球練習を行い、投球フォームや体重移動、ボールの握り方等の指導があり、コントロールや球速が格段に向上する選手がいた。

第4回少年野球教室小池理事の挨拶



令和3年度第5回豊岡市主催「少年野球教室」を開催した。豊岡市内小学校（五荘、新田、福住小学校）の児童を対象に開催した。五荘小学校では3年生118名での大規模な野球教室となり、4クラスに分けてそれぞれ準備体操、キャッチボール、ティーバッティング練習を行った。大勢の児童たちの楽しむ声が校庭中に響き、大変活気あふれる教室ができた。

◆第5回少年野球教室開催のティーボール指導の様子



◆令和3年度 第6回豊岡市少年野球教室（2021.11.18）

令和3年度第6回豊岡市主催少年野球教室は豊岡市内小学校（新田、城崎、静修、福住小学校）の児童を対象に開催した。開会式、ウォーミングアップの後、キャッチボール、ティーバッティング練習と続き、最後にミニゲームを行った。

第6回少年野球教室の様子



主催	日時		参加チーム
第1回豊岡市少年野球教室	10/26	港小学校	認定こども園園児計 25 名
第2回豊岡市少年野球教室	11/1	八条小学校	認定こども園園児計 43 名
第3回豊岡市少年野球教室	11/11	八条小学校他	八条 中竹野 八代 資母小学校計 119 名
第4回豊岡市少年野球教室	11/13	こうのとりのスタジアム	兵庫豊岡ボーイズ ヤング兵庫但馬計 28 名
第5回豊岡市少年野球教室	11/16	五荘小学校他	五荘 新田 福住 小学校計 118 名
第6回豊岡市少年野球教室	11/18	城崎小学校他	城崎 新田 静修 福住 計 31 名

(3) 指導者養成・派遣

ジュニアオールジャパンへの役員派遣 中止

(4) 野球大会の開催

◆第19回NOMOCUP野球大会の開催

【主催】 特定非営利活動法人 NOMOベースボールクラブ

【開催日時】 令和3年12月4日、5日

【開催場所】 但馬ドーム

【参加チーム】 大阪茨木リトルリーグ・兵庫山崎リトルリーグ

大阪泉州ボーイズ、泉州ボーイズ

東加古川・山陽連合、ヤング姫路アイアンズ

【大会結果】 優勝：大阪泉州ボーイズ 準優勝：東加古川・山陽連合

【内容】

この大会は、野球少年たちに日頃の成果を発揮する機会を提供するとともに、リトルリーグ、ボーイズリーグ、ヤングリーグの3リーグが参加することで、野球少年たちがリーグを超えて親睦を深める機会となり、青少年の心身の健全育成とスポーツ振興に貢献することを目的に開催している。令和3年度も3リーグから2チーム、合計6チームが出場し、優勝を目指し熱戦を繰り広げた。



(5) その他、この法人の目標を達成する事業

◆地域交流事業

新型コロナウイルス蔓延防止の観点から、主だった地域交流活動は自粛

(6) 広報活動

会員への本クラブの活動情報提供を目的とした会報を本年度2回発行した。会報は、会員だけでなく地域への広報活動にも活用している。また、HP等も充実させ、活動状況の情報発信に努めた。

2. その他の事業

(1) 物品販売業

【内容】主にHP・チラシ等を通じて宣伝を行い、通信販売を実施

また、在庫管理を徹底し、定期的に棚卸を行い売れ筋商品の見極めや在庫処分を実施
利益確保のため安定した運営を行った。

(2) 支援自販機事業

【内容】麒麟ビバレッジ社と提携し、本クラブの支援自販機設置展開を行った。

この活動を通じて豊岡市内におけるクラブの認知向上とともに売り上げの一部を
の活動費として定期的な収入を得ることができた。

III. 総会・理事会

1. 通常総会

【開催場所】 豊岡市城崎町湯島1062
特定非営利活動法人NOMOベースボールクラブ事務所
【開催日時】 令和3年3月18日(木) 13:00

2. 理事会

【開催場所】 豊岡市城崎町湯島1062
特定非営利活動法人NOMOベースボールクラブ事務所
【開催日時】 令和3年3月18日(木) 14:00